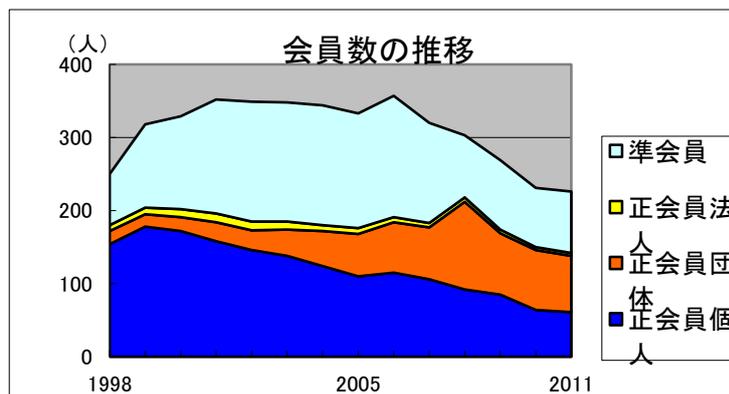
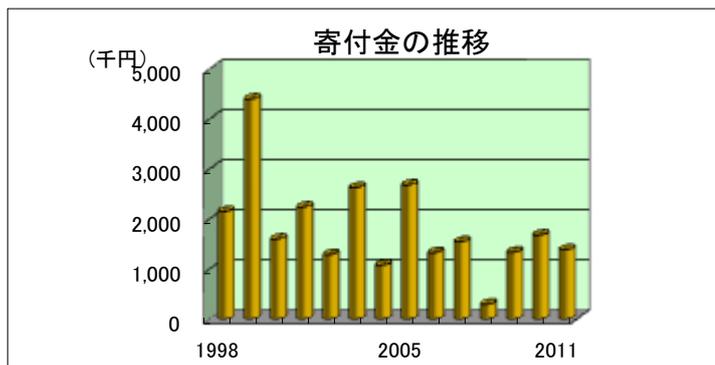


夢と希望あふれる  
市民社会をつくるために

2011年度（平成23年度）  
特定非営利活動法人 宝塚NPOセンター  
事業報告書



## 宝塚NPOセンター啓発事業



### (1) 寄付

2012年3月末で過去14年間の累計寄付金額は25,632,749円となりました。2011年度には寄付金は27件(17個人・10団体・企業)で1,386,955円の寄付をいただきました。

### (2) 会員

2012年3月末の会員数は222名(正会員個人:59 法人:4 団体:75 準会員:84)です。正会員個人、準会員、団体会員ともに、本年度は休眠会員を整理させていただいたため昨年度より多少の減少となりましたが、機会をみては再入会の誘いを行っております。団体会員として入会いただくには、法人設立時から運営までの私たちのサポート、すなわちきめ細かな個別相談活動が大きな要因であるため、今後も法人設立数拡大とともに会員数の増加に努めてまいります。

### (3) ボランティア

2011年度のボランティア登録は宝塚市民を中心に約20名です。活動時間は4,310時間と昨年より5割程度増加。この時間は常勤職員の1年の労働時間に換算すると約2人分となり、無償役務を金銭化すると約450万円の寄付に相当します。

### (4) 講演

コミュニティやNPOに関するテーマが大半でしたが、東日本大震災の支援に関する講演依頼も2011年度の特徴でした。計10件

## 宝塚市「市民活動促進支援事業」

### 2011年度の傾向:

#### NPO法人化・起業相談

宝塚市では、7団体のNPO法人が設立されました。うち、当センターが立ち上げたNPO法人は6法人で、その他事業拡充が1法人ありました。分野は、福祉関係が2法人、まちづくり3法人、環境関係1法人、事業拡充で福祉関係が1法人で、地域の高齢者や障害者などの社会参加の促進に関する事業や異業種間の交流支援、多文化共生のまちづくり、ペットとの共生など、多様でした。

#### NPO運営相談

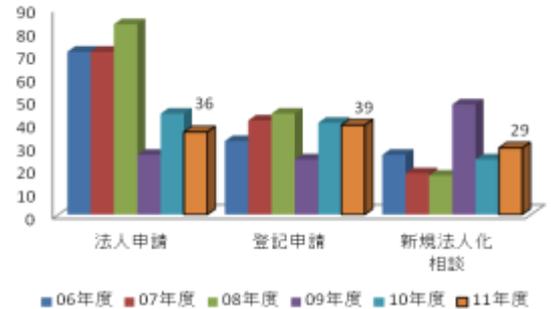
宝塚市内のNPO法人増加に伴い、運営相談も増加傾向にあります。事業報告、収支計算書等の決算関係及び登記等の手続相談が多いのは例年通りですが、NPO法改正に伴う新会計基準についての相談、認定NPO法人の制度に関する問い合わせが新しく増えています。また、障害者自立支援法に基づく地域活動支援センターの事業拡充に伴う定款変更や代表者の世代交代などの手続きもありました。

#### 法人化相談の傾向

NPO法人設立までには平均10回程度の相談を受け、1相談あたり30分～1時間程度の時間を費やしています。今年度設立の6団体は、設立までの期間が約半年～1年と比較的短いのが特徴でした。介護系2団体については既に他事業での経験があり設立の決断が速かったのですが、通常は場所・人材・資金の確保など、設立決断までには多くの時間を要します。

## 特定非営利活動法人の法人運営相談支援業務

4月～6月は特に総会や決算、事業報告の作成に関する相談が集中します。初めて決算を迎える法人からは、会計処理など専門家のサポートを受けて相談に対応するケースもありました。法人設立後の離陸応援助成金の申請書類作成、申請時のプレゼンについての相談、更には新規事業追加の定款変更など、法人化後もそのまま支援を継続するケースも増えています。



### 講座

NPO実務講座2回、市民活動入門講座4回、市内NPOネットワーク会議3回、協働講座（市民向け）3回、協働講座（行政向け）2回、シニア地域参加講座2回の計16回の講座を開催しのべ134名の参加がありました。

## 市民活動団体等のコミュニティ・ビジネス等起業・経営支援業務 まちづくり協議会の自主財源の確保に向けた支援業務



C B 起業・経営総相談数



中山台コミュニティでNPOについて学習会を行いました。また実際にコミュニティから立ち上がったNPO法人西須磨だんらんへの見学を実施しました。

山本山手コミュニティからコミュニティビジネスの話を聞きたいと依頼があり、COKOセンターへ訪問しました。

### 情報発信支援業務

#### ①宝塚NPOセンターニュースレター

回数：4回 部数：各2500部

配布先：宝塚NPOセンター会員、関係団体など

#### ②メールニュース 約2500名対象

4/18, 5/7, 5/21, 6/11, 6/12, 6/23, 7/9, 7/23, 8/20, 9/3, 9/17, 9/24, 10/8, 10/22, 11/12, 11/26, 12/10, 12/24, 1/14, 1/28, 2/18, 3/13, 3/27) 計23回

#### ③FM宝塚「ここにこたからづか」（毎月第1水曜日 11:15～11:45）

8団体のグループが出演し、活動紹介やイベントや講座のPRに活用。

## 宝塚市「阪神・淡路大震災1.17追悼・防災啓発事業」

### 「宝塚・語り継ぐ震災～安心・安全なまちをめざして～」

宝塚市と協働で震災の啓発行事を開催。

2011年、東日本大震災は私たちに改めて大自然の脅威を知らしめ、各地の防災対策に警鐘を鳴らしました。1.17のみならず3.11の支援を含めた震災体験から学んだことを活かし安全で安心なまちづくりを考えるきっかけにするべく、「安心・安全なまち」をテーマに“シンポジウム”と“鎮魂のための追悼キャンドルイベント”の2部構成としました。

特に早朝5時30分からの追悼キャンドルイベントは、多くの市民が関わる恒例行事となりつつあります。



## 宝塚市「若者就労支援事業」

今回は少人数でのスタートとなりましたが、セミナーが進むごとに参加者が増えました。その要因としては、本セミナーが若年者が求職活動をする上で必要でありながら自身に不足していると認識している内容であったためと考えています。

参加動機の大半は「近くで受講できる」「無料である」「求職活動していて自分に不足している部分であると認識して」などを挙げていました。また「他のNPOから紹介された」「家族に勧められた」ことを参加動機とする人もありました。

職場体験実習前トレーニング、STEP①からの参加者が3名、STEP②から1名、STEP③から2名が引き続き参加。10日間連続のハードな実習にもかかわらず脱落者も無く全員が修了しました。

### － プログラム内容 －

- (1) オリエンテーション
- (2) 若者就労支援講座STEP① 自己分析講座 (全4回)
- (3) 若者就労支援講座STEP② コミュニケーション講座 (全5回)
- (4) 若者就労支援講座STEP③ 就職活動実務実践講座 (全6回)
- (5) 体験実習前トレーニング (全10回)
- (6) 職場体験



セミナー参加者数	のべ31名
職場体験実習参加者	6名
・就職者数	5名
・進学者	1名

## ワークサポート宝塚「若者しごと相談広場」

- ◆ 日 時 5月10日（火）～3月13日（火）の不定期火曜日 9:00～12:00  
計18回、21人
- ◆ 場 所 ワークサポート宝塚 相談ブース
- ◆ 内 容 概ね15歳から35歳までの若者を対象にした個別就労相談
  - ・予約の相談者を優先し相談を実施
  - ・当日ワークサポートの窓口からの紹介に対応。
  - ・若者しごと相談広場 月・木担当者、ワークサポート宝塚と連携

今年度の 県に対する事業達成度 実績/目標

区分	達成目標	達成状況
雇用創出数	300人	381人 (127%)
起業団体数	23団体	27団体 (117%)

I 基本的事業

(1) 情報提供

相談者等の関係者、講座受講者等に適宜情報提供を行なっています。ホームページも刷新され、あわせて、ブログ・ホームページ・メールニュース・ニュースレターなど広範なツールを活用しながら、効果的にコミュニティ・ビジネスやNPOの情報提供を行ないました。

(2) 相談業務

起業相談: のべ924件

設立支援をした団体は27法人で、分野としては福祉関係が5割と例年通り多いですが、その他の法人もバリエーションに富み、NPOのすそ野の広がりが反映されています。

2011年度認証・拡充 NPO法人名	所在地	活動内容
4月 エコ・レボリューション	宝塚市	地球温暖化防止
4月 もっと素敵に宝塚	宝塚市	異業種交流・婚活
4月 断糖健康倶楽部	加古川市	健康管理・食生活改善
4月 健康作り兵庫	伊丹市	健康管理・食生活改善
4月 コアラ阪神	川西市	高齢者・障がい者・病弱者支援
4月 らぼーる	宝塚市	高齢者・障がい者支援
4月 なのはな	川西市	高齢者・障がい者支援
4月 やさしあ	尼崎市	高齢者・障がい者支援
5月 ぶるうみい	伊丹市	障がい児・者支援
5月 介護コミュニティ咲咲館	西宮市	高齢者介護・虐待防止
6月 グラスクラフト協会	三田市	手工芸普及
6月 夢コネクト	芦屋市	放課後子どもコミュニティ
7月 ケティーハウス	宝塚市	高齢者・障がい者支援、保育事業
8月 ラフォーレ	三田市	児童スポーツ普及
8月 IPPO(拡充)	尼崎市	障がい児・者支援
8月 ともにいきる宝塚	宝塚市	外国人との共生の推進
9月 ワーカーズコープ関西(拡充)	伊丹市	就労支援
9月 バイカモ楽農会	新温泉町	農業振興
9月 つどい場みち	西宮市	高齢者支援
10月 ハーモニー	川西市	障がい児・者支援
11月 ピースジャパン	川西市	高齢者・障がい者支援、災害救援
12月 夢舞台いながわ	猪名川町	遊休農地を利用したそば・うどんの普及
1月 イシス	川西市	高齢者・病弱者支援
1月 里やま	山崎町	身体・知的障害者支援
1月 小谷会	養父市大屋町	先祖墓の清掃・管理
1月 兵庫県断酒会(拡充)	神戸市	健康管理・食生活改善
2月 TAKARAZUKA都市活生プロジェクト	宝塚市	まちづくり

経営相談: のべ 4,297件

相談内容に応じて、それぞれのスタッフの強みを生かしてチームとしてかかわっています。

またスタッフで受けきれない専門的な相談には、会計や労務、ITの専門家、経営コンサル、ファシリテーターなど充実した相談体制を整え、「相談者が困った時の頼みの綱」となるよう全力で支援できる体制で臨んでいます。



### (3)CB(コミュニティビジネス)ゼミナール： のべ58人

今年度は昨年度の傾向を活かし入門編は実施せず、①起業支援2コマ ②資金調達2コマという起業の基本となる2テーマで開催しました。

### (4)実務講習会： 15コマ、のべ109人

実務講習会として、基本的なスキルを身につけ、スキルアップを目的とした「事務局実務講座」を実施しました。実務講座では、基礎的な事務局実務や会計(初歩編・応用編)、広報・情報発信力、など、NPO法人の事務局の運営上、欠かせないスキルを身につける事を主眼に開催し、さらなるスキルアップを目指し、中期事業計画作成、商品力アップ講座を開催しました。



## II 定着循環事業： のべ311人

まず、啓発・広報活動として、昨年引き続き、県下6箇所の生きサポが合同でフォーラムを開催。基調講演とコミュニティビジネスの事例紹介で構成しましたが、210名の参加があり、生きサポの認知度も一層上がりました。そのあと、コミュニティビジネスを継続していくための運営支援、課題解決、専門家派遣に関するイベントを開催し、11コマに101名の参加がありました。団体運営に必要でタイムリーな課題を解決するために少人数の演習を中心とした講習会を心がけ、団体に持ち帰ってすぐ活用できるようにしました。

### 専門家派遣事業

専門的見地からのアドバイスが必要な相談に対し、外部専門家のサポートを得て、相談者の課題解決を支援。5団体に対し10コマの個別派遣・個別相談を実施しました。

## III 団塊世代の元気推進事業： のべ41人

### 地域の担い手事業、コミュニティジョブ入門事業

地域につながりを持ちたいが、きっかけがないというシニア・団塊世代のために、3つのセミナーを開催しました。

退職者を中心にファシリテーターと参加者として、ワークショップを行い、シニア団塊世代が第二のステージとして起業した事例紹介を通して、自分もやれるのではというCBでの起業イメージを掴んでもらえました。またインターン事業と連携したことにより、受入れ団体としても貴重な人材を得ることができました。

### インターン事業

インターン希望者15人に対し、10団体に研修を実施しました。

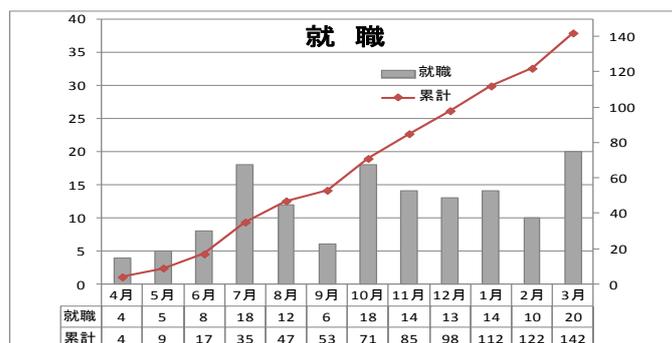
## 無料職業相談事業 & 生きサポによる就職促進事業

求職者に対しては、「お仕事を一緒にさがしましょう」というスタンスで、相談者のペースに合わせた細やかなサポートを実施してきました。

4月はNPO法人設立件数が多かったため、起業部分の就業が伸びました。5月以降、個別相談による就労も、就職促進事業担当を始め、スタッフ全員で情報共有し、相談者に合わせたいい対応により、順調に推移しました。

### 震災被災者の就職支援活動

それぞれの人に寄り添った職業相談と個別求人開拓により、11人中10人の就職を達成。保育士さんや民間企業への就職、最近の事例では、有期野菜を専門に取り扱っている店に販売員として採用されたケースもありました。



## 兵庫県 ふるさとCB創出事業

本事業は、「ふるさと雇用再生特別交付金」による2009年4月から開始した但馬地域におけるCB創出支援事業で、本年3月末をもって終了いたしました。本年度は豊岡市出石町でまちづくり交流会を開催しました。

今後NPO法人化に向けて団体内部で話を進めたい、認定NPOについて知りたいなど、但馬地区におけるCBはこれからも盛りだくさんです。9月にはCBインターンによる「NPO法人バイカモ楽農会」が誕生し、新温泉町で梅花藻を守る環境保全活動を行っています。また、これまでの従事者それぞれも起業を検討中です。

## 兵庫県「ひょうごアドプト推進事業」

### (1) 活動状況の把握と書類の授受

活動団体から提出された「2011年度活動実績報告書」と「活動状況写真」を整理し、阪神北県民局管内の28団体について2011年度のアドプト活動実績をとりまとめ提出しました。団体名変更を受けた1団体の変更届を提出し、あわせて平成24年度のアドプト活動計画について、28団体の活動内容を把握しました。

①活動状況の把握：28団体

※伊丹:4団体、宝塚:10団体、川西:9団体、猪名川:2団体、三田:3団体

### (2) 協力企業開拓

宝塚市内の観光事業者に協力を依頼をし、11月開催の「阪神北ひょうご☆アドプトチャリティ・フェスタ」に協力を得ました。アドプト団体が市の中心を流れる武庫川河川敷を清掃することが、観光資源の保持に繋がることが協力の理由であったため、チャリティー・フェスタに関わる団体には大きな励みとなりました。

### (3) 団体間のネットワークと地域への啓発

地域へのアドプト活動の啓発と活動グループの絆づくりのために、下記の3事業を事務局として支援しました。

- ・夏祭り参加
- ・光の道しるべ
- ・阪神北ひょうごアドプト☆チャリティ・フェスタ



## 兵庫県「地域づくり活動基盤整備事業」

国の「新しい公共支援事業交付金」を活用して「兵庫県が実施する「地域づくり活動支援事業」に対して「NPO等人材育成事業」「NPO等カフェ運営事業」「寄附募集支援事業」の3提案をし、3提案全てが採択され9月から事業を開始しました。

「NPO等人材育成事業」「NPO等カフェ運営事業」は、但馬地域を中心とした事業であり、これまで培った但馬地域でのネットワークが成功への大きな原動力となりました。「寄附募集支援事業」は兵庫県内の6NPO団体のネットワークで兵庫県内に市民ファンドを創設する事を目的に進めました。

いずれの事業も24年度も継続することが決定しています。

## 兵庫県「まちかど子育て相談員養成講座」企画・実施

身近なところで子育て家庭をきめ細かくサポートする仕組みづくりを進めるため、子育て家庭の相談にのり支援サービスなどの情報を提供する子育て版ケアマネージャー「まちかど子育て相談員」を養成する講座です88。

9月7日から11月16日まで全13回に亘る講座を実施し、43名の「まちかど子育て相談員」が誕生しました。受講後には、「相手の話をよく聞くようになった」「効果的に話ができるようになった」「自分の意見をはさんでいたことを反省」「やさしくなれた」などの感想が寄せられました。

講座修了生による子育て支援グループ「まちかどすみれ会」が誕生し、活動を始めています。

## 「東日本大震災支援事業」

3月11日に震災が発生してすぐに「関西に避難された方を宝塚で支援する」との方針を決定し、被災者支援物資の運搬から動き出しました。宝塚市市営住宅に避難された世帯にボランティアの助けを借りながら、市民から提供された物品を運搬。運搬作業から住居が点在している事に気づき、被災者同士のつながりを作る「お茶っこカフェ」を開催しました。このカフェが被災者の情報交換の場となるとともに、被災地に行くことはできないが宝塚にいながらボランティアをしたい市民の活動の場になりました。



## 地域活動

ソリオ宝塚自治会事務局とともに、7回になる夏祭りの事務局を担っています。毎年、地藏盆の夜に地域の方々に祭りを楽しんでいただきます。



## 他団体・組織との連携

### (1) 協賛・後援・協力など

実施日	事業名	主催名	形態
2011年10月 1日	第7回愛と理解のチャリティーコンサート	宝塚障害福祉市民懇談会	後援
2011年10月 1日	NPO法改正&新寄付税制フォーラム 辻本清美さん、関口宏聡さんをお迎えして	NPO法人 コミュニティ・サポートセンター神戸	後援
2011年10月15日	第13回世界食糧デー宝塚大会	第13回世界食糧デー宝塚大会実行委員会	後援
2011年10月22日・29日	「今、家族とは何か」を考える	甲子園大学心理学部	後援
2011年11月 3日	産前・産後ヨガ	宝塚ヨーガセラピー	後援
2011年11月 3日	武庫川を歩くイベント	武庫川周辺の街を考える会	後援
2011年11月 6日	ほっこり庵一周年記念特別講演 「どう向き合う 家族が認知症になった時」	NPO法人スマイルウェイ	後援
2011年11月26日	はなみずき10周年記念愛とやすらぎの チャリティーコンサート	はなみずき10周年記念 チャリティーコンサート実行委員会	後援
2012年1月16日・17日	第17回兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災) 犠牲者追悼のつどい	ボランティア団体ユー・アイ・アソシエーション	後援
2012年 2月26日	第8回ぽっかぽっかコンサート	きよくん基金を募る会	後援

### (2) 委員会参画

#### ① 宝塚市

《宝塚市若者自立支援ネットワーク会議》

委員:橘田てつ子

#### ② (社福) 宝塚市社会福祉協議会

《兵庫県共同募金会宝塚市共同募金委員会》

委員:中山光子

《ボランティア活動センターワーキング》

委員:中山光子

#### ③ 阪神北県民局

《阪神北☆夢づくり応援事業企画提案会》

審査委員:中山光子

#### ④ 伊丹市

《指定管理者選定委員会》

委員:中山光子

《社会的企業設立・運営支援制度研究会》

委員:中山光子

#### ⑤ 西宮市

《市民活動コーディネーター受託者選定委員会》

審査委員:中山光子

マスコミ報道

掲載日	媒体	内容
4月 4日(月)	NHK(TV)	東日本大震災支援「家財道具」運び入れ
4月 6日(水)	読売新聞	東日本大震災支援「家財道具」運び入れ
4月29日(金)	神戸新聞	「総合計画」マンガ版
5月 1日(日)	シティライフ	東日本大震災支援「宝塚NPOセンターの取り組みについて」
5月 7日(土)	産経新聞	「総合計画」マンガ版
5月10日(火)	産経新聞	東日本大震災支援「お茶っこカフェ開催について」
5月10日(火)	神戸新聞	東日本大震災支援「お茶っこカフェ開催について」
5月10日(火)	朝日新聞	東日本大震災支援「お茶っこカフェ開催について」
5月11日(水)	毎日新聞	東日本大震災支援「お茶っこカフェ開催について」
5月15日(日)	神戸新聞	東日本大震災支援「第1回お茶っこカフェ」
5月15日(日)	読売新聞	東日本大震災支援「第1回お茶っこカフェ」
6月 3日(金)	神戸新聞	東日本大震災支援「第2回お茶っこカフェ」
6月 3日(金)	朝日新聞	東日本大震災支援「被災者生活支援ガイドブック」
6月 3日(金)	神戸新聞	東日本大震災支援「被災者生活支援ガイドブック」
8月23日(火)	神戸新聞	ひょうごアドプト推進事業「光の道しるべ」
9月11日(日)	毎日新聞	東日本大震災支援「お茶っこカフェ」
11月 8日(火)	毎日新聞	東日本大震災支援「お茶っこカフェ」
11月30日(水)	神戸新聞	地域づくり活動基盤整備事業「但馬de元気カフェin浜坂」
12月15日(木)	日本海新聞	地域づくり活動基盤整備事業「但馬de元気カフェin浜坂」
1月13日(金)	神戸新聞	1. 17震災シンポジウム
1月13日(金)	朝日新聞	1. 17震災シンポジウム
1月13日(金)	毎日新聞	1. 17震災シンポジウム
1月17日(火)	毎日新聞	1. 17と3.11に対するNPOセンターの取り組み
1月18日(水)	朝日新聞	1. 17震災イベント
1月18日(水)	日本海新聞	地域づくり活動基盤整備事業「但馬de元気カフェin浜坂」
1月23日(月)	神戸新聞	地域づくり活動基盤整備事業「但馬de元気カフェin浜坂」
1月28日(土)	日本海新聞	地域づくり活動基盤整備事業「但馬de元気カフェin浜坂」
3月 8日(木)	サンテレビ	東日本大震災支援「被災避難者の就職支援について」
随時	NHK(ラジオ)	東日本大震災関連情報